



あーあ、こんな事だ
なっちゃったんだらう



ただ彼の関心を
引きたかっただけなのよ

彼も、私も

あまりにも違う方向に
行ってしまった



愛のないセックス

何のときめきもない

ほんの少しの快楽だけが
残る単純な肉体行為

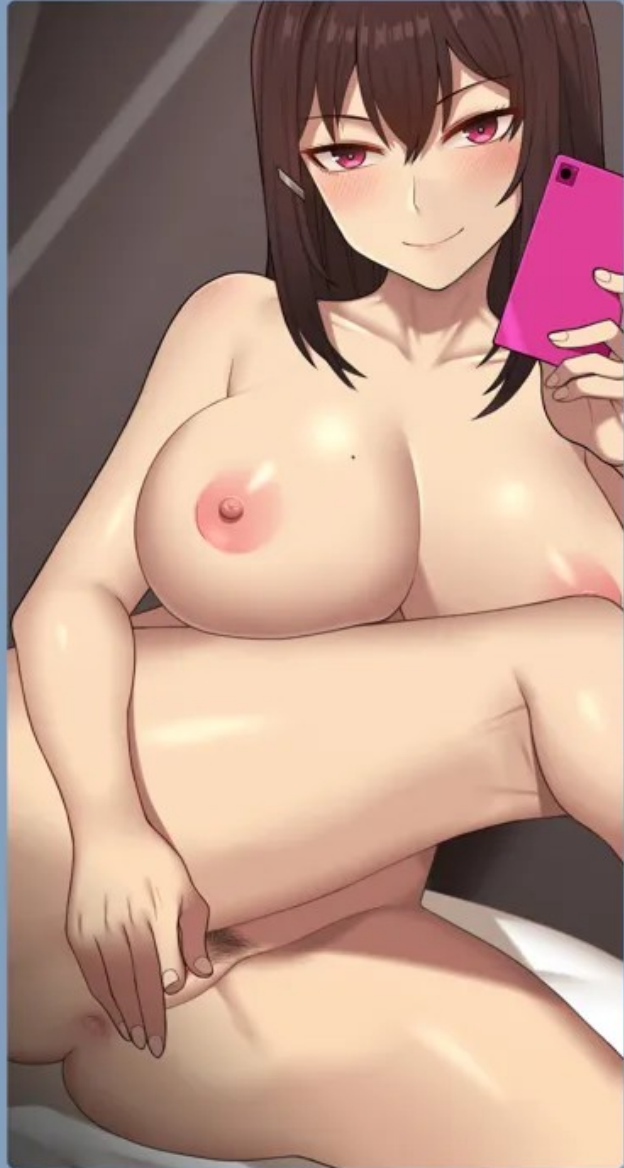
彼が好きなのは
現実の私ではなく
画像の中の私



彼だとしてほらう

私ほどんな男にでも
簡単に身体を交える
淫らな女にしか
見えないだろう

すべてあきらめる前、
最後にハルの本心を
知りたかったので



いつものような感じで
画像を送って聞いてみた

既読
22:46

よっ♡

ハル

エツ口

22:46

そういえばあんた好きな子いないの？

22:48



意外にも彼は1年前の
私との話を切り出した

サークルで再会した時
知らないふりをしたのは

恐らくあの時と
あまりにも変わった
私の姿に戸惑って

私みたいに悩んで
いたのかな

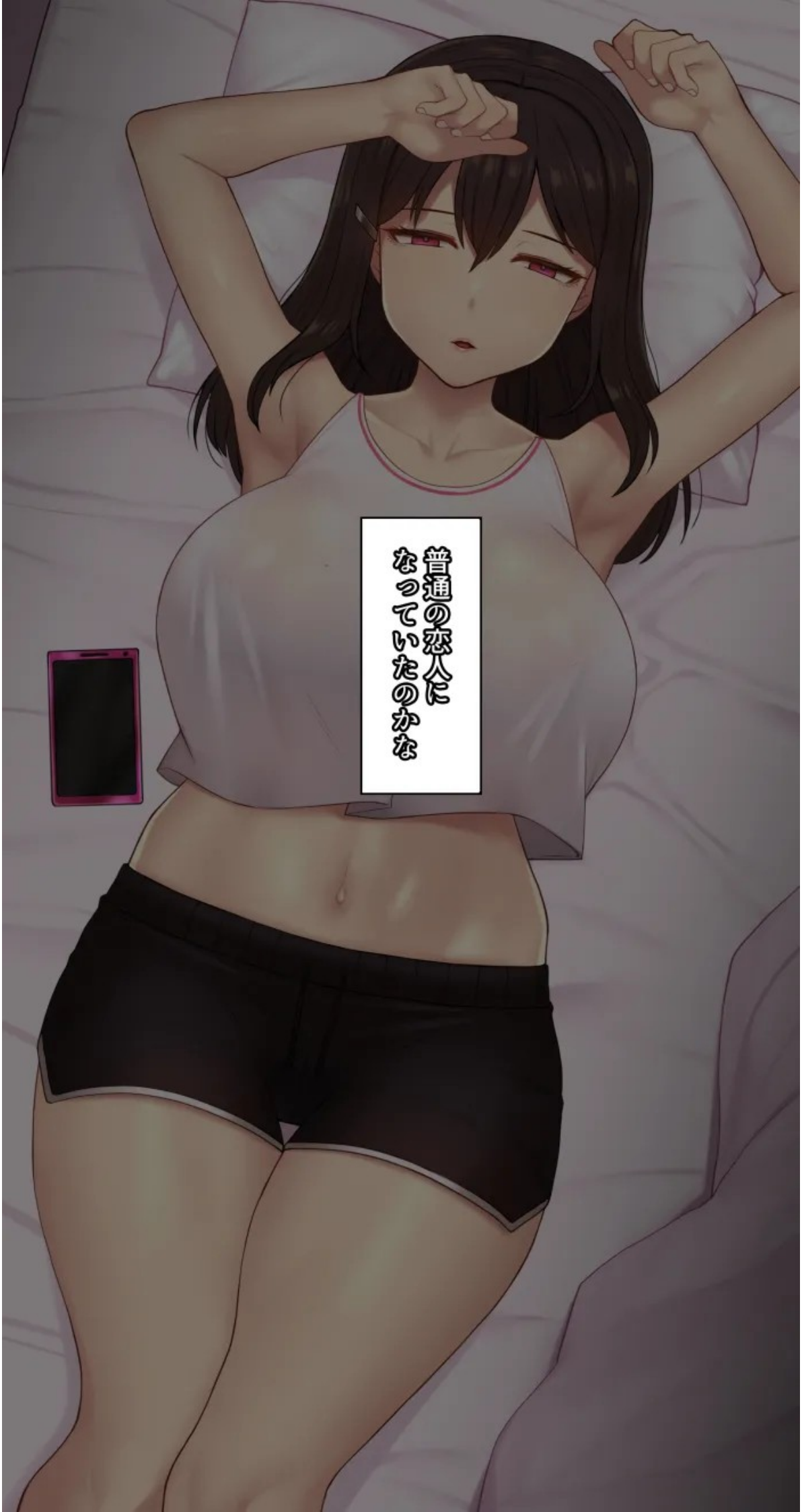
おれの画像を送った後

全身に広がる安堵感と

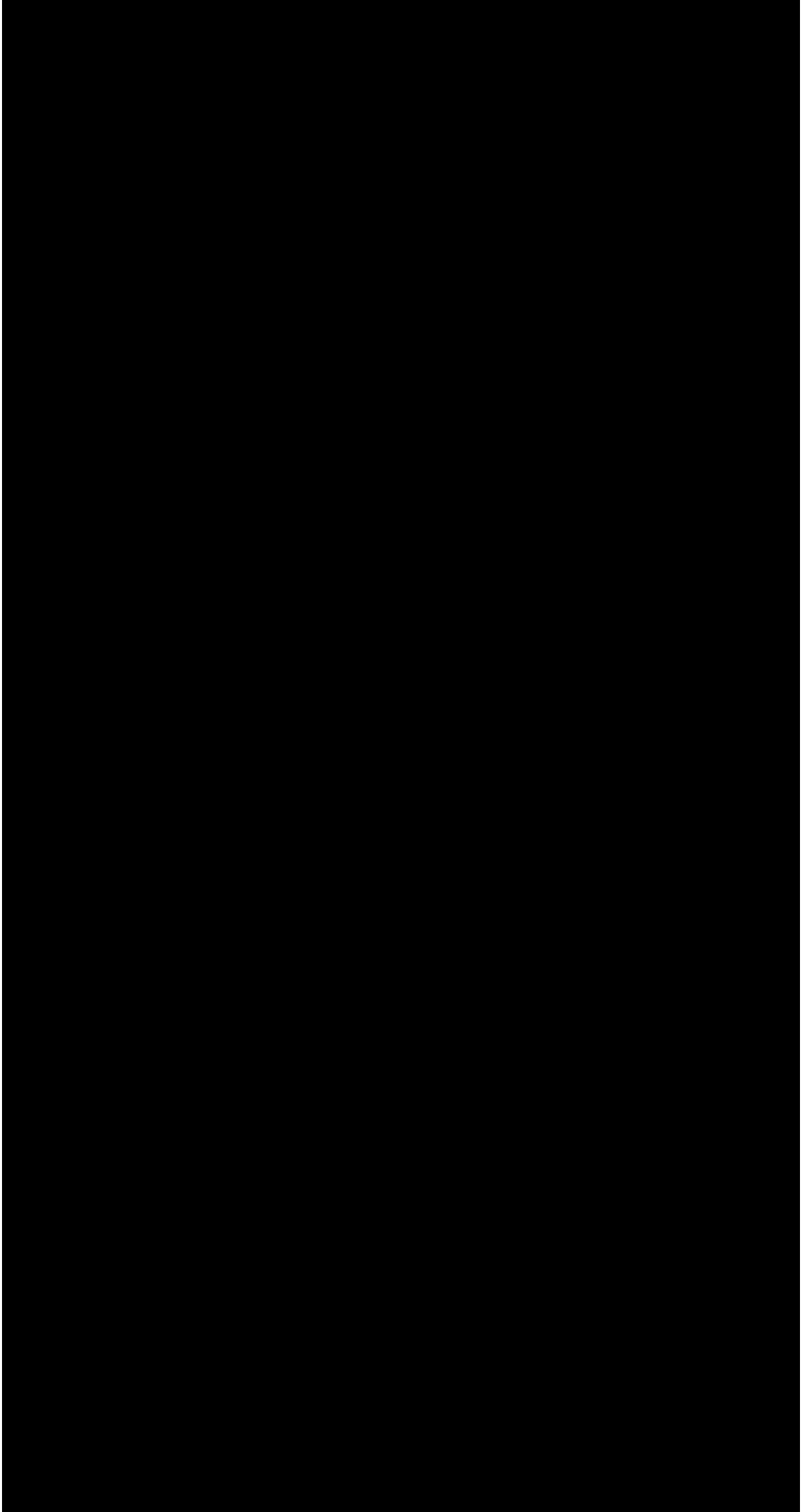
それを全部吹き飛ばす
空しさが押し寄せてきた

…再会した時、お互い
本心と言っていたら

こんなような空を
関係ではなく…



普通の恋人に
なっていたのかな

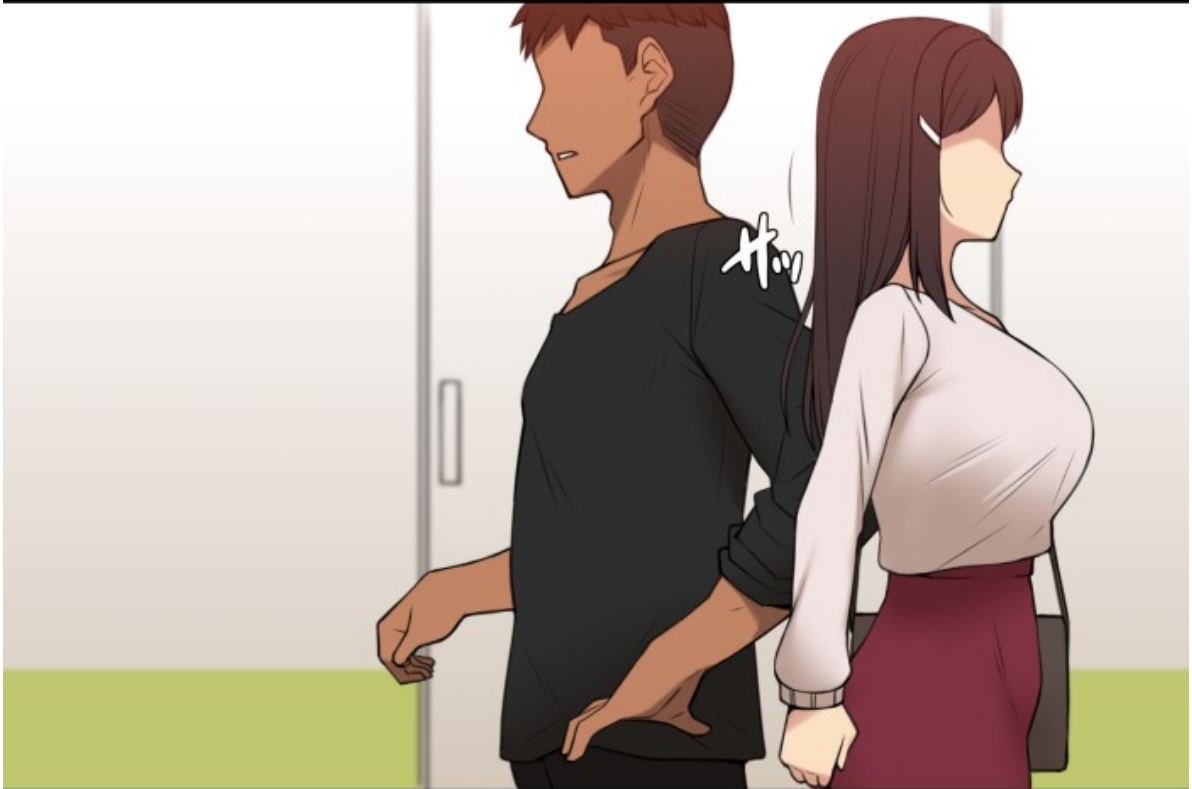


授業が終わって、
講義室を出る前
廊下で先輩と
出くわした

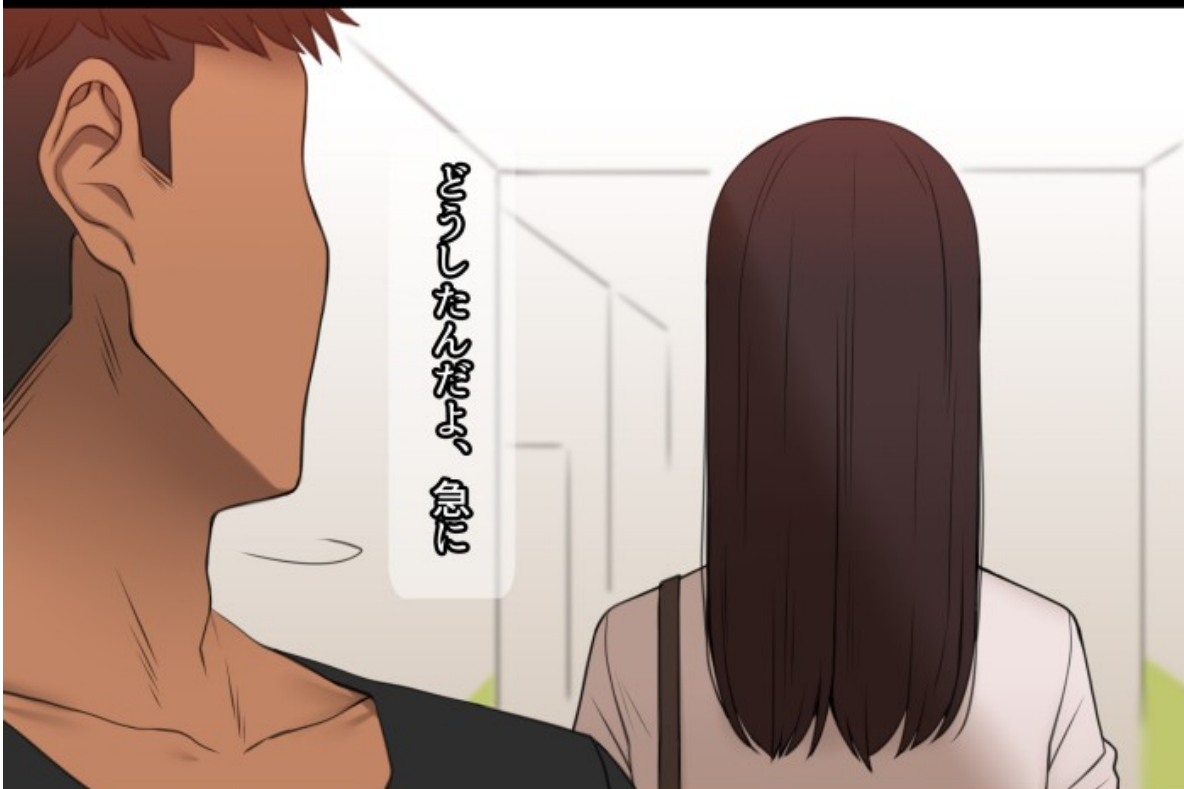


あれ、ゆみちゃん
久しぶりじゃん

今夜時間どう？



うん？

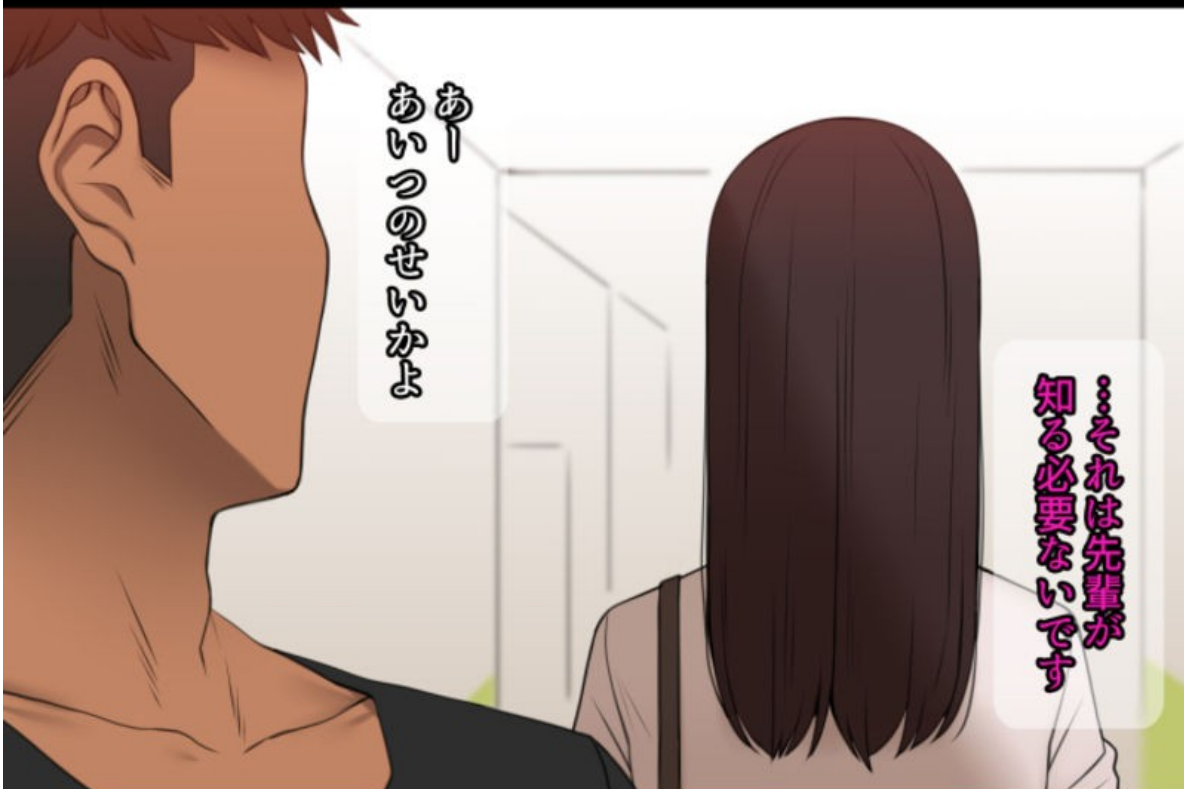


どうしたんだよ、急に

⋮

もう先輩と付き合う
つもりはありません

は？
なんで？



あー
あいつのせいだよ

…それは先輩が
知る必要ないです

…マジ？

知ってんだら
お前も

あんなネジの
外れた奴によ

そっぴす

ハルは確かに
ちよつと変です

でも…

私も抜けて
いますよ



ネッ

もう遅いかもしれない

でも、彼が先に私に
歩み寄ってくれたように

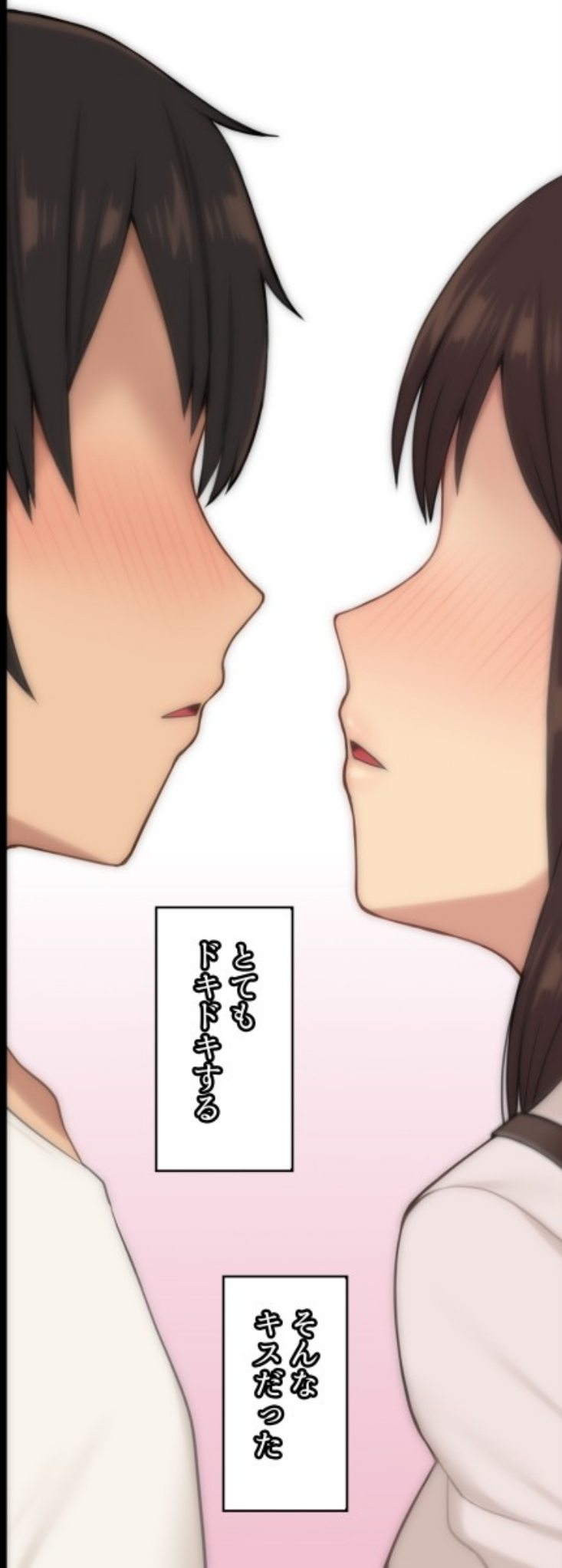


画像の中なんかじゃなく

現実の私で、
彼に会いたいと思った

彼とのキスは
唇が触れるだけの
軽いものだったけど





あんな
きもち
いい

そんな
キスだつた